


# 履 歴 書

2026年3月3日現在

ふりがな 氏名	いけだ かずと  <b>池田 和人</b>		
生年月日 1965年 6月 5日 生	性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男・女	本籍 三重県	
(事務所の住所) 〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町 4-10 アピカビル 3F MG-YOKKAICHI 内			
(自宅の住所) 〒510-0034 三重県四日市市滝川町 16-2, 501号 (電話) 090-9890-4559			

開始	終了	学歴・職歴
2022/03	現在	池田和人技術士事務所 代表
2024/07	現在	特定非営利活動法人テクノメイトコープ 理事
2024/04	現在	大阪公立大学 工学部 非常勤講師 ▶ 『エンジニアのためのキャリアデザイン』 (90分×1コマ:工学部3年生) ▶ 『化学工学序論』を担当 (90分×2コマ:化学工学科1年生)
2022/10	現在	国立大学法人三重大学 工学部 非常勤講師 ▶ 『応用化学特別講義Ⅲ』 (90分×8コマ:応用化学科3年生) ▶ 『工業化学概論』 (90分×15コマ:応用化学科3年生) ▶ 『実践企業学』 (90分×8コマ:工学研究科 大学院生)
2025/4 (予定)	—	名城大学 工学部 非常勤講師 ▶ 『分離精製工学』 (90分×15コマ:応用化学科3年生) ▶ 『科学技術英語』 (90分×15コマ:工学研究科 大学院生)
2022/07	現在	公益社団法人日本技術士会 ▶ 中部本部 副本部長 ▶ 三重県支部長 ▶ 中部本部 研修委員長 ▶ 中部本部 活用促進委員会 副委員長 ▶ 化学部会 副部長(2025/7まで、現在は幹事) ▶ 中部本部 化学・金属・繊維部会 部会長 ▶ 化学物質管理研究会 幹事
2024/10	2024/11	中国山東省日照市「2024年ハイレベル外国専門家交流会(日中韓)」より招聘
2023/02	現在	米国ガーソン・レーマン・グループ(GLG) 専門家登録者 (メンバーズプログラム)
2022/03	現在	愛知県商工会連合会 経営・技術強化支援事業に係るエキスパート登録者
2011/03	現在	技術士(総合技術監理部門)に合格・登録 ▶ 前年度に合格した化学部門の技術士二次試験は、総合技術監理部門の二次試験の半分という位置づけです。 ▶ 総合技術監理部門の試験では、5つの管理(経済性管理・人的資源管理・安全管理・情報管理・社会環境管理)に関する問題が出題されます。

2010/03	現在	技術士(化学部門)に合格・登録(選択科目:化学装置および設備) ▶ 技術士一次試験の選択科目は「経営工学」 ▶ 技術士二次試験の部門は「化学」、選択科目は「化学装置および設備」 ▶ 技術士(化学部門)に合格後、公益社団法人日本技術士会に入会
2021/09	2022/04	有限会社 ETIC (合成ゴムプラント技術の海外ライセンス業務)
開始	終了	学歴・職歴
2002/04	2006/09	JSR Micro Korea Co, Ltd. (JSR 株式会社から出向:韓国 忠清北道) ▶ JSR 株式会社 100%出資の韓国法人 ▶ 韓国法人設立プロジェクト→現地会社(設計チーム長→製造チーム長(次長)) ▶ 韓国でのディスプレイ材料の生産会社の設立・立上げ・操業
1992/05	1995/06	JSR Shell Elastomer Co., Ltd. (JSR 株式会社から出向:茨城県鹿嶋市) ▶ 日本合成ゴム株式会社とロイヤル・ダッチ・シェルとの合弁会社 ▶ 熱可塑性エラストマー及びイソプレンゴムの製造スタッフ ▶ JSR 株式会社(当時の日本合成ゴム)への入社後、すぐに出向
1992/04	2021/06	JSR 株式会社(当時は日本合成ゴム株式会社) ▶ プロセスエンジニア(プロセス開発、プラント設計、プロジェクト業務、生産技術、海外技術ライセンス、リスク管理・危機管理、安全・環境・品質等) ▶ 鹿島コンビナート→四日市コンビナート(途中、韓国に3年1か月間赴任) ▶ 前半は、半導体材料・ディスプレイ材料・光ファイバーコーティング材等の多角化事業に従事。後半は、透明樹脂・合成ゴム(S-SBR)に従事。 ▶ JSR Micro Kyushu 株式会社の増設プロジェクトにも従事。 ▶ JSR 株式会社が創業当時から続く合成ゴム事業(エラストマー事業)をエネオス株式会社に売却することが決定され、その2021年6月末に早期退職(56才)する。現在、JSR 株式会社の合成ゴム事業は ENEOS マテリアル株式会社として社会に貢献している。私は退職後、JSR 株式会社の OB の皆様方とともに有限会社 ETIC で合成ゴムプラントの海外技術ライセンスに半年間携わる。そしてその後、『池田和人技術士事務所』を立ち上げる。
1990/04	1992/03	大阪府立大学大学院 (現在の大阪公立大学大学院) 工学研究科 博士前期課程 化学工学専攻(工学修士)
1986/04	1990/03	大阪府立大学 工学部 化学工学科
1981/04	1984/03	愛知県立岡崎北高等学校
1975/04	1981/03	豊田市立駒場小学校 → 豊田市立高岡中学校

## 【保有資格】

- ▶ 技術士(化学部門)(国家資格)
- ▶ 技術士(総合技術監理部門)(国家資格)
- ▶ エネルギー管理士(国家資格)
- ▶ 公害防止管理者(大気一種)(国家資格)
- ▶ 高圧ガス保安管理者(甲種化学)(国家資格)
- ▶ 高圧ガス保安管理者(甲種機械)(国家資格)
- ▶ 危険物取扱主任者(甲種)(国家資格)
- ▶ 化学工学技士(公益社団法人化学工学会)
- ▶ 化学物質管理士(一般社団法人化学物質管理士協会)



# 職務経歴書（技術士 池田和人）



## 1. プロフィール

JSR 株式会社(旧日本合成ゴム)で、合成ゴム・合成樹脂・半導体材料・ディスプレイ材料・光ファイバーコーティング材料等のプロセス開発・プラント設計・プロジェクト管理・生産技術・製造・海外技術ライセンス等に 29 年間従事した後、JSR での若い頃の上司の方々や JSR の OB の皆様方と有限会社 ETIC で溶液重合スチレン・ブタジエン・ラバー(S-SBR:タイヤ用合成ゴム)の海外技術ライセンスに三四半期間従事しました。そして、2022 年 3 月に『池田和人技術士事務所』を開業しました。現在は、総合技術監理部門と化学部門の技術士として、講演活動、セミナー講師、大学講師、書籍・雑誌の執筆そして企業指導に力を注いでいます。

技術士への合格を契機に、憲法・法律・経済学、そして近現代史・国際情勢も学んで参りました。未熟ではございますが、技術屋としての仕事の傍ら、これらの学問を学ぶことにより、社会の在り方を俯瞰的に考えられるようになったと自負しています。

世の中にはテクニカル用語が氾濫しています。しかし、最新のテクノロジーを導入するにも、それを選ぶのは人であり、使うのは人です。結局のところ、自由市場での勝敗は『人』の能力で決まります。人が育てば社会が育ち、国が育ちます。『池田和人技術士事務所』は、事業を成功に導く過程で、人を自由に豊かに育てます。外部の新鮮な知見を導入されることにより、「右脳の刺激」を存分に味わっていただければ嬉しく思います。

## 2. 専門分野

- 経営全般
  - 顧問・技術顧問・顧問技術士
  - 技術・経営コンサルタント
  - 非常勤取締役、非常勤理事
- 人材育成、技術者育成、若手育成《社内向けセミナー、個別指導等》
- 化学コンビナートの運営管理、プロセス開発、プロセス設計、プラント技術
- エネルギー管理・改善、省エネルギー
- 化学物質管理(全般および安衛法に準じた自律的管理に関する指導)
- 化学工学(ケミカルエンジニアリング)、単位操作論(化学装置/環境装置等)
- 生産技術、生産性向上、コストダウン、品質向上、環境改善
- プロジェクトマネジメント、フィージビリティスタディ(事業採算評価、投資採算評価)
- 技術ライセンス (ノウハウや特許技術等を伝授して対価を得るための業務です。)
- リスク管理・危機管理・リスクアセスメント(HAZOP/FMEA/FTA/ETA/LOPA)
- BCP(Business Continuity Planning)/BCM(Business Continuity Management)

## 3. 保有資格

化学企業に入社しますと、事業所が法的に必要とする国家資格の取得を勧められます。未来の社会創りを担う若手の皆様方に向けて、保有資格の取得時期も併記します。

- 技術士（化学部門）（国家資格）：入社 16 年目
- 技術士（総合技術監理部門）（国家資格）：入社 17 年目
- エネルギー管理士（国家資格）：入社 7 年目
- 公害防止管理者（大気一種）（国家資格）：入社 20 年目(化学部門の技術士は講習会で取得可能)  
公害防止管理者(水質一種)も取ろうとしましたら、「国家試験で取得せよ」と言われ、諦めました。

- 高圧ガス保安管理者（甲種化学）（国家資格）：入社 2 年目
- 高圧ガス保安管理者（甲種機械）（国家資格）：入社 3 年目
- 危険物取扱主任者（甲種）（国家資格）：入社 1 年目
- 化学工学技士（公益社団法人化学工学会）：入社 17 年目
- 化学物質管理士（一般社団法人化学物質管理士協会）：技術士事務所開業後
- 簿記 3級（商工会議所）：技術士合格後に取得

## 4. 現在の職位

- 池田和人技術士事務所 代表
- 特定非営利活動法人テクノメイトコープ 理事
- 三重大学 工学部／三重大学大学院 工学研究科 非常勤講師
- 大阪公立大学 工学部 非常勤講師
- 名城大学 工学部／名城大学大学院 工学研究科 非常勤講師
- 米国 ガーソン・レーマン・グループ(GLG) 専門家登録者
- 愛知県商工会連合会 経営・技術強化支援事業に係るエキスパート登録者
- 公益社団法人日本技術士会
  - 中部本部 副本部長、三重県支部 支部長、中部本部 総務委員会 委員
  - 中部本部 研修委員会 委員長、中部本部 活用促進委員会 副委員長
  - 中部本部 化学・金属・繊維部会 部会長、化学部会 幹事
- 化学物質管理研究会(MOCS 研) 幹事
- 大阪公立大学 百舌鳥化工会 会長（化学工学科 同窓会 会長）



## 5. 業務実績

### 【プロジェクト】

半導体材料プラント（ArFレジスト、KrFレジスト、ポジレジスト、多層材料など）	Feasibility Study 設計・建設	三重県四日市市 (JSR 株式会社)
液晶ディスプレイ材料プラント（着色レジスト、配向膜、保護膜、スペーサー材料など）	Feasibility Study 設計・建設	佐賀県佐賀市 (JSR 株式会社)
韓国法人設立プロジェクト (着色レジスト、保護膜、スペーサー材料)	Feasibility Study 設計・建設・製造統括	韓国 忠清北道 (JSR 株式会社) (JSR Micro Korea Co., Ltd.)
熱回収とバイナリー発電設備導入	Feasibility Study	三重県四日市市 (JSR 株式会社)
溶液重合ゴムプラント：S-SBR	技術ライセンス	タイ (JSR 株式会社) (JSR BST Elastomer Co., Ltd. (JBE))
溶液重合ゴムプラント：S-SBR	技術ライセンス	ハンガリー (JSR 株式会社:一部のみ) (JSR MOL Synthetic Rubber Ltd. (JMSR))
溶液重合ゴムプラント：S-SBR	技術ライセンス	中国 (有限会社 ETIC/ドイツ企業) (中国 大手化学メーカー向け)
液晶ディスプレイ材料	技術ライセンス	台湾 (JSR 株式会社)

(着色レジスト)	(Feasibility Study)	(台湾 大手化学メーカー)
マイクロチャンネルリアクターによるジエン系の熱分解	ラボ検討のみ	三重県四日市市 (with 米国) (JSR 株式会社)
半導体材料の重合プラント(ポジレジスト)	ASPEN シミュレーション	米国 ボストン (JSR 株式会社) (米国 AspenTech 社)
耐熱透明樹脂プラント (環状オレフィン系)	設備改良検討	千葉県市原市 (JSR 株式会社)
金型成形のエネルギー効率向上	技術指導	愛知県内のメーカー
切削工具技術の海外ライセンス(検討のみ)	プロジェクト全般指導	愛知県内のメーカー
粉体の空送技術に関する指導	技術指導	愛知県内のエンジニアリング会社
プロセス設計とリスクアセスメントに関する指導(FMEA/HAZOP/LOPA)	全般指導	大手化学企業・大手繊維企業 数社
化学製品のマーケティング・生産技術・研究開発に関するスポットコンサルタント	全般指導	外資系コンサルタント会社 数社 国内・海外 大手企業 数社
三重大学と公益社団法人日本技術士会中部本部との包括的連携協定	調整役	公益社団法人日本技術士会
公益社団法人日本技術士会 その他各種行事の主催や支部・委員会運営等	後述の役目として成就	公益社団法人日本技術士会
その他、工場・プラントの生産性向上、省エネルギー、安全・環境・品質技術、リスク管理、危機管理など、実績多数		

## 【大学講師】

国立大学法人 三重大学 (非常勤講師:2022 年度～)	工業化学概論 (応用化学科 3 回生向け)	2022 年度後期 90 分×8 コマ 2023 年度後期 90 分×8 コマ 2024 年度後期 90 分×16 コマ
	応用化学特別講義Ⅲ (応用化学科 3 回生向け)	2024 年度前期 90 分×8 コマ 2025 年度後期 90 分×8 コマ
	実践企業学 (工学研究科 大学院生向け)	2025 年度後期 90 分×8 コマ
大阪公立大学 (非常勤講師:2024 年度～)	化学工学序論 (化学工学科 1 回生向け)	2023 年度後期 90 分×1 コマ 2024 年度後期 90 分×1 コマ
	エンジニアのキャリアデザイン (工学部 全学部 3 回生向け)	2024 年度後期 90 分×1 コマ
名城大学 (非常勤講師:2025 年度～)	分離精製工学 (応用化学科 3 回生向け)	2025 年度前期 90 分×16 コマ (化学工学では重要な科目です)
	科学技術英語 (工学研究科 大学院生向け)	2025 年度後期 90 分×16 コマ

東洋大学	化学産業論 (応用化学科 1 回生向け)	2022 年度後期 90 分×1 コマ 2023 年度後期 90 分×1 コマ
------	-------------------------	--

### 【大学での授業の本旨】

当方の授業では、未来の日本人社会を担う大学生に「右脳の刺激」を感じてもらえるよう心がけています。当方の授業は、有益な雑談と理系的な原理原則論が主体で、「全体から各論へ」という演繹法の論理に基づき進められます。「料理人は皿洗いから」と言われますが、「ヒト・モノ・カネ」の3要素を基本とする「店舗経営の基礎」を知った料理人の若者は、どのような皿洗いになるでしょう。日本人は、「各論から全体へ」という帰納法の論理を得意としていますが、「全体から各論へ」という演繹法の論理を身につけた若者は大きく早く育ちます。「入社10年でようやく会社が分かった。」では、世界を跨いだ自由市場で淘汰されてしまいます。

当方の授業では、「できるだけ勉強せずに思い出せる人こそ素晴らしい」と言っています。皆さんも、「読んだ本を思い出す訓練」にトライしてみてください。読んだ本を必死に思い出そうとすると、本の項目が頭の中で整理され、分からない部分が明確になります。そして、「そういえば、あれはなぜだろう」と本能的に考えることになります。この「なぜだろう」が自然現象の原理原則を理解する上で最も重要です。一方、人間にはプライドがあります。また、人間は面倒を嫌う動物です。よって、「できるだけ本を見ないで思い出そう」と考えるのが人間の本能です。また、「俺はできる人間なので、授業を聞いただけで思い出せる」と考えるのが「男のつまらないプライド」というものです。ある現象に対する基礎的な原理原則論を深く理解するためには、実は「思い出す訓練」が最も効果的です。なお、「本が擦り減るほど繰り返し読んで、ようやく思い出せるようになりました。」というのは、これは非常に言いにくいのですが、「自分は頭が悪い」と言っているようなものです。



### 《大学の授業内容(工業化学系・化学工学系)》

受験時代を終えた大学生が「化学」と聞けば、化学の教科書や参考書あるいは白衣姿の化学者を思い出すでしょう。しかし、「化学産業」というものは、まさに重厚長大な装置産業です。本講座は、石油化学コンビナートとケミカル・エンジニアの世界を知ってもらうとともに、石油化学プラントで汎用的に使われている単位操作に関する学問的な基礎理論とプラントの基本設計理論を教えるものです。

1. 石油化学コンビナートの役割と仕組み
2. 火力発電所の仕組みと熱回収・熱収支、熱回収とコンバインドサイクル、発電効率
3. 資金調達と投資回収、生産性向上、損益分岐点、需要と供給、マネタリーベース・マネーストック、信用創造、その他経済学の基礎理論
4. 熱とエネルギー、物質収支と熱収支、ブロック図とフローシート
5. 気液平衡(相変化とエンタルピー計算、単成分の気液平衡、2成分系の気液平衡)
6. 流動理論・伝熱理論・蒸発理論・反応工学と単位操作の基本設計(蒸留塔・反応器・熱交換器・ポンプ等)
7. 定常状態と非定常状態(含:微分方程式)
8. カーボンニュートラル、天然ガスと循環型社会、他

### 《大学の授業内容(実践企業学系)》

「世のため人のため」という精神を以て自由市場を活性化できる人材を育てるためには、経営理論を教えるだけでなく、世界情勢や自由市場の仕組みを教えた上で、そこで活動する人間の心を本能で感じてもらい、「自分が未来社会を創る」という野心や夢を抱いてもらわなければなりません。本講義は、その目的を実現するために検討

されています。

1. 世界を見る(世界の都市、世界の大学、世界の政治家・偉人、世界史・日本史、他)
2. 日本を見る(日本国憲法と日本の法体系、自由市場の経済原理、他)
3. 企業を見る(会社の財務(財務諸表の仕組み)、投資と資金調達、採算性評価手法(Pay-Back 法、NPV 法、IRR 法)、生産性向上、損益分岐点、他)
4. 歴史から学ぶ(小林一三、岩下清周、吉田茂、白洲次郎、池田勇人、他)
5. リバラルアーツ教育(オンデマンド方式)(世界について楽しく見る動画、講師の海外での経験談など)

## 【セミナー講師、講演】

以下は、これまでの講演・セミナー・学会発表の内容です。訪問セミナーをご希望の方は、以下をご参照の上、「池田和人技術士事務所 代表 池田和人」宛にメールにてご連絡をお願い致します。セミナー料金は、池田和人技術士事務所のホームページの「報酬の目安」に掲載されています。また、下表の演題の他、前述の大学の授業内容や後述の書籍等の執筆内容も対応可能です。(連絡先メールアドレス : spuk3vz9@kazuto-ikeda.com)。

「化学プラントの基本設計 (入門編)」	半日 (セミナー)
「化学プラントの基本設計 (法規編)」	半日 (セミナー)
「化学プラントの基本設計 (設計編)」	1日 (セミナー)
「化学プラントの基本設計 (演習編)」	2日 (セミナー)
「プラント安全管理の実務」	半日 (セミナー)
「工場・設備の投資採算評価手法と財務三表の基礎知識」 《投資の概念、資金調達の仕組み、WACC、Pay-Back 法、NPV 法、IRR 法》	1日 (セミナー)
「リスクアセスメント:HAZOP・LOPA・FMEA・FTA・ETA」 (安全度水準 SIL、安全計装設備 SIF、安全制御システム SIS の解説を含む)	1日 (セミナー)
「化学物質の規制と自主管理」	半日 (セミナー)
「エネルギーの考え方と脱炭素」	1日～半日 (セミナー)
「人と技術は世を変える (短縮編)」	2時間 (講演)
「人と技術は世を変える」	半日～1日 (講演)
「社会の知力を高めるために」(人材育成論)	半日 (セミナー)
「工業化学概論」(大学生・若手社員・他業界向け)	半日～5日 (セミナー)
「分離精製工学」(大学生・若手社員・他業界向け)	半日～5日 (セミナー)
「工学と化学産業」(大学生・若手社員・他業界向け)	半日～1日 (セミナー)
「実践企業学」(大学生・若手社員向け)	半日～5日 (セミナー)
「技術者が学ぶ憲法」	半日 (セミナー)

『炭素循環型社会』そして『天然ガス社会と水素社会』さらに『マクロ経済学』を考える。 (日本の逆転劇を考える)(第 56 回 中部化学関係学協会支部連合秋季大会 2025.11.8 岐阜大学での発表内容をベースにした講演・セミナー)	90 分
---	------

### 【書籍・雑誌の執筆】

【書籍】「製造業における化学物質の環境・安全・品質管理の手引(共著)」	書籍 (新日本法規出版:2023年6月23日発刊)
【書籍】「プロセス・プラントのリスク,安全性評価(共著)」 (プラント安全管理の実務)	書籍 (技術情報教会:2026年2月27日発刊)
【論文】「社会の知力を高めるために」(数学的人材育成論)	月刊技術士 2019年4月号 (公益社団法人日本技術士会)
【コラム】「人と技術は世を変える」 ～オランダ農業と二酸化炭素循環を題材に～	月刊プラスチック 2023年7月号 (日本工業出版)
【論文】「プラント安全管理の実務」	配管技術 2024年3月増刊号 (日本工業出版)
【記事】「工場・設備の投資採算性」	技術士ちゅうぶ 2022年 第9号 (日本技術士会)
【論文】「化学プラントのリスクアセスメント」 (HAZOP/LOPA)	月刊技術士 2025年6月号 (公益社団法人日本技術士会)
【連載記事】「化学プラントの基本設計」 (第1回:2025年10月号) 『プラント建設の意思決定から基本設計の総論まで』 (第2回:2025年12月号) 『設備投資の意思決定手法(投資採算評価手法)』 (第3回:2026年2月号) 『物質収支と熱収支(Heat & Mass Balance)』 (第4回:2026年4月号(予定)) 『非定常状態の物質収支(微分方程式)』 (第5回:2026年6月号(予定)) 『バッチ式プラントの基本設計(バッチスケジュール)』	月刊 配管技術 (日本工業出版)
【記事】「技術士のさらなる活性化と評価度の向上 (中部本部化学部会の紹介)」	技術士ちゅうぶ 2021年 第7号 (日本技術士会)
【記事】 会長表彰を受けて	技術士ちゅうぶ 2021年 第8号 (日本技術士会)
【記事】 三重大学と連携協定を締結	技術士ちゅうぶ 2022年 第10号 (日本技術士会)
【記事】 三重県支部 年次大会	技術士ちゅうぶ 2023年 第12号 (日本技術士会)
【記事】 化学・金属・繊維・資源工学 四部会合同見学会・専門部会』へのご案内	公益社団法人日本技術士会 全国大会誌 (2023年11月開催)
【記事】『スタートアップ企業を増やすために』(日本国憲法と自由主義の観点より)	NPO 法人テクノメイトコープ「環」 (2025年冬号)
【記事】『我々は今、野望を抱かなければならない。』	NPO 法人テクノメイトコープ「環」 (2024年秋号)

## 6. 学位・表彰

【学位】1992年3月 大阪府立大学（現、大阪公立大学）大学院 工学研究科 博士前期課程 化学工学専攻 修了

【表彰】公益社団法人日本技術士会『会長表彰』〔2021年6月〕

## 7. 所属学協会

### 【所属学会】

公益社団法人 日本技術士会 / 公益社団法人 化学工学会

化学物質管理研究会(MOCS 研) / 化学物質管理士協会(Pro-MOCS) / 中部産業遺産研究会 / 分離技術会  
名古屋商工会議所・四日市商工会議所 / 中部ニュービジネス協議会

## 8. 池田和人技術士事務所 HP

池田和人技術士事務所ホームページに池田和人に関する情報や業務に対する報酬額の目安などが掲載されています。また、Facebook をご覧になれますと、社会創りに対する技術士 池田和人の人柄をお楽しみいただけます。

### 【池田和人技術士事務所ホームページ】

<https://www.kazuto-ikeda.com/>

### 【フェイスブック(池田和人)】

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100079846976479>

